

始良市ホームページ【令和5年9月公表】

始良市／令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果公表

1 全国学力・学習状況調査について

令和5年度全国学力・学習状況調査について説明します。

(1) 調査のねらい

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善を行うことをねらいとしています。さらに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てていきます。

(2) 調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年

(3) 調査内容

小学校第6学年 国語、算数、理科、児童質問紙

中学校第3学年 国語、数学、理科、生徒質問紙

各小・中学校 学校質問紙

(4) 実施日

令和5年4月18日（火曜日）

2 全国学力・学習状況調査の結果概況について

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について概況をお知らせします。

(1) 学力に関する調査の結果概況と分析

ア 小学校第6学年(市や県の平均正答率は、小数第一位を四捨五入した整数値です。)

	国語	算数
始良市の平均正答率(%)	73.0	67.0
鹿児島県の平均正答率(%)	67.0	61.0
全国(公立)の平均正答率(%)	67.2	62.5

- 全教科で全国平均を大きく上回っています。
- 国語は、考えやその根拠・理由を書くことの指導や読書に親しませる取組の充実が成果に結び付いていると考えられます。
- 算数は、課題を解決する過程を書いて説明する指導や学んだことが定着するまでの繰り返しの指導の充実が成果に結び付いていると考えられます。
- 課題として、国語、算数ともに複数の資料や情報を比較して考えたり、考えを説明・発信したりする力を付けられるような指導を充実させる必要があると考えています。

イ 中学校第3学年(市や県の平均正答率は、小数第一位を四捨五入した整数値です。)

	国語	数学	英語
始良市の平均正答率(%)	71.0	47.0	44.0
鹿児島県の平均正答率(%)	70.0	48.0	42.0
全国(公立)の平均正答率(%)	69.8	51.0	45.0

- 国語は、全国平均を上回っているものの、数学と英語は、全国平均を下回っています。
- 数学と英語は、思考力・判断力・表現力を育成する指導を充実させる必要があると考えてい

ます。

- 共通する課題について、現在の指導をさらに充実・深化できるよう、市内の学校全体が成果を共有しながら学力向上への取組を進めていきます。

(2) 学習状況に関する調査の結果概況と分析

調査結果の中で、全国の回答結果と比較して、特徴的な内容は次のとおりです。

- 将来の夢や目標をもっている児童生徒が多い。
- 読書をする時間が長い児童生徒が多い。
- 自分には、よいところがあると思う生徒が多い。
- △ 1時間以上家庭学習をしていない児童生徒が、一定の割合でいる。
- △ 新聞を読んでいる児童生徒が少ない。

(3) 今後の取組

本市は、「学力向上アクションプラン推進事業」を中心に、各中学校ブロックを単位とした共通実践、研究授業を通じた研修会の実施など、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組を推進しています。

今回の全国学力・学習状況調査結果の成果や課題の分析を受け、学力向上アクションプラン推進会議で本年度の取組の重点の確認を行い、各校では、自校の成果と課題の明確化し、実態に応じて重点取組内容を具体化して、学力向上の取組を進めていきます。

3 家庭・地域へのお願い

本市の「学力向上アクションプラン事業」においては、授業における学びを支える基本的な学習習慣定着のための共通実践事項として、「学習の構えの確立」「学習環境の整備」「家庭学習の習慣化」を掲げています。

学習習慣の定着のためには、落ち着いた心で学習に臨むことができる環境づくりや、学びの意欲を高める働きかけとともに、家庭学習の習慣化が大切です。各家庭では、低学年の時から家庭学習にしっかり取り組めるよう環境を整え、子どもたちのがんばりを認めることを中心にしながら、粘り強い声かけや励ましをお願いします。（4月当初に学校から配布される「家庭学習の手引き」を参考にしてください。）

子どもたちが将来の夢や希望に向かって努力できるよう、引き続き、学校・家庭・地域が協働した支援や働きかけをよろしくをお願いします。